

『教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）』【教養基礎教育】

教養基礎教育では、ディプロマ・ポリシーを達成するため、次のような方針に基づいて教育課程を構成します。

（教育課程編成方針）

1. 教養教育科目は「初年次ゼミ」「主題別科目」「国際言語科目」「スポーツ文化科目」の科目群で構成する。
2. 大学生生活の指針や大学における基本的な学修方法・態度、各学部で必要となる基礎的知識を身につける初年次教育を行う。
3. 現代社会や文化、科学に関する幅広い教養や、心身の健康維持等に関する知識・技能を身につける教育を行う。
4. 地域の歴史・文化・産業等を理解し、その知識を活用する能力を身につける教育を行う。
5. キャリア設計準備のためのキャリア教育や、日本語表現力やコミュニケーション能力を育成する教育を行う。
6. 情報収集技術やプレゼンテーション能力等の社会で必要なスキルを身につける少人数・学生主体型授業を行う。
7. 外国語の「読む・書く・聞く・話す」の技能が効果的に結びつくよう総合的に学び、実践力を確実に養成する。
8. 専門教育科目を履修するための基礎として必要な能力を養うために、各学部・学科別に基礎教育科目を開設し、各専門分野における基礎的な知識や技能の理解と習得、情報処理能力等を育成する教育を行う。

（学修方法・学修過程）

1年次前期に大学における基本的な学修方法等を身につけるため、導入教育科目の初年次ゼミを履修する。

1年次から2年次にかけて、外国語の基礎的な技能から実践力を段階的に身につける国際言語科目を履修する。また、各専門分野の基礎的な知識や技能等を身につける基礎教育科目を履修する。

全学年を通じて幅広い教養や技能を身につけるため、キャリア教育科目や少人数・学生主体型授業を含む多様な分野からなる主題別科目を履修する。